

令和3年度 社会福祉法人小牧福祉会 事業実績報告

I. 小牧福祉会（本部）の事業報告

1. 評議員会

令和3年 6月22日 令和2年度事業実績・収支決算、理事及び監事の選任

2. 理事会

令和3年 6月 7日 令和2年度の事業実績・収支決算、いわざき授産所車輛購入に係る業者選定、いわざき授産所電気設備取替工事に係る業者選定、令和3年度収支補正予算、理事及び監事候補者の推薦、評議員選任・解任委員の選任、苦情等解決第三者委員の選任、定時評議員会の招集

令和3年 6月22日 理事長の選定、いわざき授産所送迎車輛購入に係る業者の決定及び契約

令和3年 8月27日 いわざき授産所送迎車輛購入に係る業者との契約、グループホームの整備、グループホームの整備に係る土地の購入、グループホームの整備に係る設計監理業者の選定、令和3年度収支補正予算

令和3年12月13日 社会福祉法人小牧福祉会苦情解決・虐待防止規程の一部改正

令和4年 3月22日 社会福祉法人小牧福祉会ハラスメント防止規程の制定、社会福祉法人小牧福祉会職員就業規則及び関連規程等の一部改正、社会福祉法人小牧福祉会評議員及び役員等の報酬等に関する規程の一部改正、社会福祉法人小牧福祉会経理規程の一部改正、社会福祉法人小牧福祉会事務規程の一部改正、各事業所の運営規程の一部改正、令和4年度役員等賠償責任保険の契約、中期経営計画（第2期）の策定、令和3年度収支補正予算、令和4年度事業計画、令和4年度収支予算

3. 監事監査

令和3年 5月24日 令和2年度事業実績・収支決算
指摘事項 特になし

4. 社会福祉法人指導監査（小牧市）

実施なし

5. 指定障害福祉サービス事業者等実地指導（愛知県）

実施なし

6. 会議・委員会

将来検討委員会（年2回）

令和3年 7月29日 グループホーム開設、送迎、職員研修、財政計画

令和4年 3月 1日 中期経営計画（第1期から第2期）、グループホーム開設

安全衛生委員会（年12回） 施設における安全面や衛生面に関する検討

苦情解決・虐待防止第三者委員会（年1回）

令和4年 2月14日 令和3年度の報告

理事長・施設長等会議（年13回）

施設長等・主任会議（年12回）

将来計画合同検討会（年9回）小牧福祉会中期経営計画に基づいた検討

（グループホーム開設、危機管理、送迎、職員研修）

小牧福祉会中期経営計画（第2期）

7. 研修

令和3年 7月27日	令和3年度 日中活動支援部会及び施設長会 (オンライン)	伊藤 茂 施設長
令和3年 8月 5日	BCPセミナー「自然災害へ備える」(オンライン)	伊藤 茂 施設長
令和3年10月 7日	令和3年度食品衛生責任者養成講習	伊藤 正登 施設長 林 広宣 副施設長

8. 広報紙

「なかまの“わ”」(年3回 利用者、法人関係、施設関係、近隣自治会等へ配布および回覧)
発行部数 2,170部

9. その他

令和3年11月	全国社会福祉大会 厚生労働大臣 表彰	受章者1名
令和4年 1月	愛知県社会福祉大会 愛知県知事感謝	受章者1名
令和3年12月	小牧市社会福祉大会 市長感謝 小牧市社会福祉協議会会長 感謝	受章者2名 受章者1名
令和3年11月	愛知県福祉協会 永年勤続	受章者1名
令和3年12月	愛知労働局 愛知紛争調整委員会 「個別労働関係紛争のあっせん」	

令和3年度は、前年度(令和2年度)に引き続き新型コロナウイルスの感染状況の影響から、行事の中止や活動内容を制限し、活動の規模を縮小して取り組みをしました。また、社会情勢から、施設外での販売機会は減少しましたが、企業からの作業は比較的安定していました。感染者が発生して施設利用を停止したり、様々な影響を受けつつも当法人が利用者の生活上必要なサービスであることから感染防止対策を続けて支援に努めました。

Ⅱ. いわぎき授産所の事業報告

方針 利用者の意思および人格を尊重し、常に利用者の立場に立った福祉サービスを提供するよう努めました。また、日中活動の場の検討や職員の質の向上を図り、魅力ある施設利用に努めました。また、一定の条件のもと、送迎を行い、継続的な施設利用に繋がるよう努めました。

生活介護においては、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、また、高齢化に向けた情報収集を進め、利用者に適した支援を模索しながら介護や療育的活動、創作的活動等を通して支援を行いました。

相談支援においては、障がい者等やその家族の意思、選択に基づいたサービス利用に係る利用計画の作成および適切な福祉サービスが提供されるよう支援を行いました。

日中一時支援を必要とする利用者に対し、活動の場の提供、見守りをし、社会に適応するための日常的な支援・指導を行うことで、在宅の障がい者等の福祉の向上を図りました。

開所日数 266日 (内、コロナ感染防止のため在宅支援5日)

1) いわぎき授産所の利用者への支援・指導

1. 日中活動サービス(生活介護)

サービス提供時間 9:00～16:00

(1) 利用者

利用(契約)人数(令和4年3月31日現在)

障害福祉サービス事業所 (生活介護：定員40名)													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
生介	40	40	39	39	38	38	38	38	38	38	38	39	463
合計	40	40	39	39	38	38	38	38	38	38	38	39	463

年齢(令和4年3月31日現在)

	～18	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男	1	1	4	2	8	5	1	22
女	0	0	1	1	8	6	1	17
合計	1	1	5	3	16	11	2	39

障害者総合支援法に基づく障害支援区分(令和4年3月31日現在)

区分	認定無し	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	4	9	4	5	22
女	0	0	0	4	4	4	5	17
合計	0	0	0	8	13	8	10	39

市町村別(令和4年3月31日現在)

小牧市 39名

(2) 職員 23名(令和4年3月31日現在)

管理者1名、サービス管理責任者1名、看護職員1名、生活支援員16名、事務員1名、調理員4名、嘱託医師1名 ※兼務職員数を含む

2. 支援・指導

生活介護：生産活動や療育的活動等の提供を行いました。

(1) 生産活動

- ・利用者一人ひとりの能力や障がい特性を考慮し、できることやできそうなことを個々に合わせた作業を提供しました。
- ・就労へ向けた支援は、就労希望者等の該当者がなく行いませんでした。

【内容】 自主作業：印刷、縫製、仕入れ、資源回収
受託作業：ガス器具部品組立、自動車部品組立、電気設備部品組立
※全員が協力し、忙しい作業は、お互いに手伝い合いました。

【時間】 9：30～15：30の間

(2) 日中活動

- ・利用者のニーズ・課題を把握し、基本的な生活習慣（身辺処理、みだしなみ、食事マナーなど）が確立できるよう、ごく日常的な内容から支援・指導を行いました。
- ・自己表現ができる場や興味関心から内容を自己選択できる機会を設け、本人の意思で参加内容を決定していけるように支援・指導を行いました。
- ・療育的活動や創作的活動が楽しめるよう利用者の思いを聞き、活動内容に取り入れて提供しました。また、心身ともに健康な生活が送れるように支援しました。

<日々の活動>：散歩・レクリエーション 等

【内容】 療育的活動（リトミック・音楽療法等）
創作的活動（作品作り・興味関心のある取り組み等）
生活に関する活動（そうじ・買い物・社会資源の活用等）

【時間】 13：00～15：30の間

<活動内容>

グループ活動 … 「生産活動－工賃－楽しみ」が結びつくよう地域の社会資源に出かけ、工賃を使用する機会として買い物等行い、自立生活に結びついていくよう支援しました。

いきいき活動（芸術・音楽・体操）

… 自分を表現する場として、また、新たな能力を見つけ余暇を楽しめるよう支援しました。

全体活動（ゴミゼロ、いわぎ塾、レクリエーション、体力づくり）

… 地域貢献の1つとして施設周辺の清掃を行いました。また、楽しみながら身体を動かす活動や日常生活に役立つ情報提供を行いました。

お楽しみ活動 … 利用者の様々な興味関心から数種類の企画をし、各自が好きな内容を自己選択して楽しく過ごす時間にしました。

お金の使い道 … 工賃日以降にグループ活動で買い物支援をしました。

そうじの日 … 身の回りの片づけや机拭きなどを経験を通して指導しました。

ティータイム … 自己選択やリラックスする時間として飲み物等を用意し、仲間と親睦を深める時間となるよう支援しました。

※日々の活動は、原則として隔週で金曜日の午後および土曜日の午後に行いました。

※その週に休日や行事等がある時は、活動を中止または変更し調整をしました。

3. 各種会議・職員研修・広報

・会議

職員会議（年15回） 運営・行事の検討、利用者の処遇向上等
個別支援計画会議（年26回）

利用者個々の処遇向上、モニタリング報告、個別支援計画の作

	成・見直し・確認等
評価会議（年3回）	利用者の作業姿勢および工賃等
サービス評価会議（年1回）	施設サービスの自己評価 ※回覧により報告
調整部会（年0回）	施設の課題等の整理、検討
作業部会（年12回）	作業分析から作業工程、就労支援・就労者フォロー
生活部会（年12回）	施設内の生活支援全般、ボランティアの受入等
広報部会（年12回）	「なかまの“わ”」、ホームページ等各種PR等

・職種別合同部会

支援スタッフ部会（年各1回）	作業部(利用者の作業姿勢評価および工賃等) 生活部(施設サービス評価) 広報部(ホームページ、広報紙等) ※必要に応じて電話にて連絡
事務担当者部会（年14回）	予算作成、会計運用等
調理担当者部会（年0回）	食材による調理方法等 ※必要に応じて電話にて連絡
保健・看護担当者部会（年1回）	薬の管理方法、健診のあり方、次年度計画等 ※必要に応じて電話にて連絡
広報担当者部会（年1回）	情報共有および連絡調整 ※必要に応じて電話にて連絡

・職員研修

施設外研修	各種団体等の研修会（年5回、延21名）※オンラインを含む 普通救命講習会（年2回、延2名）
法人内研修	職員合同研修会（年2回）※各事業所にて ・研修報告～事例検討「自分でできるところって？」について
施設内研修	年度末研修会（年1回、21名） ・ハラスメント防止研修 ・「障害者虐待防止法の理解と対応」 出張報告会等（年5回）
資格取得奨励	該当なし
自主研修利用	該当なし

・広報紙

授産所だより（毎月1回 利用者）	発行部数	45部
------------------	------	-----

・実行委員会

いわさきふれあいまつり実行委員会（年1回）

4. 行事等の活動

月	日	行事等の内容
4	1	入・開所式
	14	健康診断（やまもとクリニック） 家族会総会 <中止>
	26～28	春の大掃除（WAX）
5		
6	1～30	家庭訪問（自宅位置確認）
	10	防災訓練
	29	レントゲン検診（あいち健康クリニック）
	28～30	作業参観
7	20～27	小牧市ふれあいセンター作品展示

8	6 13～15 30	防犯訓練 夏季休暇 消防設備点検
9	1 9 15	防災訓練 家族向け講習会 <中止> 歯科検診 小牧福祉会職員合同研修会（1回目）
10	11～19	秋の小旅行
11	1 10	年賀状印刷受付開始 インフルエンザ予防接種（やまもとクリニック） スポ・レクのつどい（パークアリーナ）<中止>
12	4 20 29～1/4	いわぎきふれあいミニまつり 小牧ライオンズクラブ慰問 年末年始休暇
1	5 12 15	仕事はじめ、初詣 小牧福祉会職員合同研修会（2回目） 成人を祝う会・新年会
2	1/24～28 9	三者懇談会 消防設備点検
3	8～15 11 25 31	いきいき展（味噌市民センター） 防災訓練 次年度事業説明会 利用者年度末特別休暇

※個別懇談会（モニタリング）を一人当たり年2回以上実施

※イオン（マックスバリュ） 幸せの黄色いレシートキャンペーン（毎月11日）に参加（0回）

5. 参加バザー

期 日	事 業 内 容	期 日	事 業 内 容
	こまき産業フェスタ<中止>		岩崎サービスセンター秋まつり<中止>
	たがた苑まつり<中止>		小牧市社会福祉大会<中止>
	豊寿苑夏祭り<中止>	11/20～21	みんなの生活展(いきいきこまき)
	いわぎきふれあいまつり<中止>		本庄ふれあいまつり<中止>
	野口の郷ふれあい祭り<中止>		久保区作品展（3あい事業）<中止>
	福祉展（小牧市民まつり）<中止>	4/8・7/8・8/5・10/7・11/4・12/2・ 1/6・2/3・3/5	小牧市老人福祉センター（野口）

6. 実習・体験・見学・交流の受け入れ

	期 日	実 習 等 の 内 容	人数
◎実習	7/1～8/2	社会福祉士実習（日本福祉大学）	1名
◎実習	7/26～7/29	介護福祉実習（古知野高校）	4名
◎実習	8/2～8/5	介護福祉実習（古知野高校）	4名
◎実習	8/2～9/3	社会福祉士実習（中部学院大学）	2名
◎実習	9/1～9/3	社会福祉士実習（日本福祉大学）	2名
◎実習	9/30～10/29	社会福祉士実習（日本福祉大学）	1名
◎実習	9/6～10/29	教員免許特例介護体験（名古屋造形大学）（名古屋学院大学）	10名
実習	1/31～2/4	産業現場実習（一宮東特別支援学校 高等部）	1名

◎は愛知県の民間社会福祉施設運営費補助金（施設運営費）の対象事業

7. ボランティアの受け入れ

事業内容	人数等	
いきいき活動講師（音楽）	1個人	3回
いきいき活動講師（芸術）	1個人	2回
いきいき活動講師（体操）	1団体	3回
リトミック講師	2個人	6回
音楽療法講師	1個人	3回
日中活動（作業、活動）	4個人	16回
大掃除（WAX）：一寸奉仕	1団体	15名

8. 苦情の受付件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

9. 公益的取り組み

- ・ 近隣への奉仕活動（ごみゼロ活動等）
- ・ 各種実習受け入れ（福祉人材育成等）
- ・ 災害時開放型自動販売機設置（飲料水）

10. 施設整備（設備整備）関係

愛知県共同募金配分金受配 電気設備部品交換工事

工期 令和3年6月28日から令和3年8月21日

事業費 総事業費…2,365,000円

配分金…1,550,000円 自己資金…815,000円

小牧市障害者福祉施設等整備費補助事業 送迎車輛購入

納車日 令和3年12月22日

事業費 総事業費…3,825,950円

補助金…2,869,462円 自己資金…956,488円

II) 計画相談支援

(1) 内容

障害福祉サービスを利用する障がい者及びその家族の意思や選択に基づいた、サービス等利用計画を作成し、適切な福祉サービスが総合的かつ効率的に提供されるようにサービス利用の支援をしました。また、サービス等利用計画が適切であるかモニタリングをし、継続サービス利用の支援も行いました。

(2) 契約者数 89名（令和4年3月31日現在）

利用人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
いわざき	10	10	8	12	9	7	10	13	8	11	14	10	122
本庄	6	7	9	9	8	10	6	15	7	6	14	8	105
その他	9	3	11	8	6	3	6	7	6	10	4	2	75
合計	25	20	28	29	23	20	22	35	21	27	32	20	302

(3) 職員 2名（令和4年3月31日現在）

管理者1名、相談支援専門員1名

※兼務職員数を含む

Ⅲ) 日中一時支援事業 (公益事業)

(1) 内容

障害者等の家族の就労支援及び日常介護している家族の一時的な負担軽減を図ることを目的に、日中活動の場を提供し、見守り等、支援を行いました。

(2) 契約者数 36名 (令和4年3月31日現在)

利用人数・日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日中活動	2	1	1	2	1	2	2	1	1	1	1	0	15
タイムケア	6	4	4	3	4	5	4	8	6	3	5	7	59
延日数	13	7	12	14	11	16	11	17	13	12	11	24	161

(3) 職員 9名 (令和4年3月31日現在)

管理者1名、生活支援員8名 ※兼務職員数を含む

Ⅲ. 本庄授産所の事業報告

方針 利用者の意思および人格を尊重し、常に利用者の立場に立った福祉サービスを提供するよう努めました。また、日中活動の場の検討や職員の質の向上を図り、魅力ある施設利用に努めました。また、一定条件のもと、送迎を行い、継続的な施設利用につながるよう努めました。

生活介護事業では、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、生活上の支援や療育的・創作的活動および生産活動の提供を行い、必要な支援を行いました。

就労継続支援B型事業では、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供し、福祉的就労、その他の活動の機会を通じて、知識および能力の向上のために必要な支援や指導を行いました。

日中一時支援を必要とする利用者に対し、活動の場を提供し、見守りや社会に適應するための日常的な支援・指導を行い、在宅の障がい者等の福祉の向上を図りました。

多機能型事業所として、行事等においては1事業所として仲間生活を大切に相互に交流を図れるよう支援を行いました。

開所日数 266日 (内、コロナ感染防止のため在宅支援10日)

1) 本庄授産所の利用者への支援・指導

1. 日中活動サービス (生活介護および就労継続支援B型)

サービス提供時間 9:00~16:00

(1) 利用者

利用(契約)人数(令和4年3月31日現在)

障害福祉サービス事業所 (生活介護:定員25名、就労継続支援B型:定員15名)													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
生介	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	254
就労	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
合計	35	35	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	410

年齢(令和4年3月31日現在)

	~18	18~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~	合計
男	0	0	4	5	12	0	1	22
女	0	0	1	1	6	4	0	12
合計	0	0	5	6	18	4	1	34

障害者総合支援法に基づく障害支援区分(令和4年3月31日現在)

区分	認定無し	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	1	3	10	7	1	22
女	0	0	2	2	6	0	2	12
合計	0	0	3	5	16	7	3	34

市町村別(令和4年3月31日現在)

小牧市	33名	春日井市	1名
-----	-----	------	----

(2) 職員 20名(令和4年3月31日現在)

管理者1名、サービス管理責任者1名、看護職員1名、生活支援員14名、職業指導員2名、目標工賃達成指導員1名、事務員1名、調理員5名、嘱託医師1名 ※兼務職員数を含む

2. 支援・指導

生活介護

(1) 生産活動

利用者の能力や精神面での安定を図れるよう考慮しながら、個々に合った生産活動の提供を行いました。

【内容】 受託作業：ガス器具部品の組立、電気設備部品の組立
自主作業：資源回収

【時間】 9：30～15：30の間

(2) 日中活動

対人関係を考慮しながら、集団における活動を通して利用者がお互いに仲間関係を大切にできるよう支援・指導に努めました。

情緒的安定のための療育的な活動や体力の維持増進のための身体を動かす活動等を楽しみながら行うことで、心身の健康づくりを図りました。

【内容】 チャレンジ活動：ウォーキング、創作・日常生活に関する活動等
療育的活動：音楽療法

【時間】 13：00～15：30の間

就労継続支援B型

(1) 就労支援

「働くことの意味の理解」を目標に、意欲・技術・社会参加等、労働に対する姿勢を利用者のニーズに合わせて支援・指導に努めました。

利用者個人の能力や適性を把握し、工程分析を行うことで利用者個人に適した作業および作業環境や配置を提供し、労働の意欲が高められるよう支援・指導に努めました。

【内容】 施設内作業：受託作業：ガス器具部品の組立、ウレタン加工、電気設備部品の組立
自主作業：縫製、紙工芸等

施設外就労：受託作業：ペットボトル手選別

【時間】 施設内：9：30～15：30

施設外：9：20～15：50

(2) 施設外支援

施設外就労および一般就労希望の該当者が無かったことから就労に向けた支援は行いませんでした。

(3) 就労定着支援

一般就労した利用者に対し就労後の定着、維持ができるよう訪問等の定着支援を行いました。

生活介護および就労継続支援B型（共通）

日常生活・日中活動支援

「活動を通じた豊かな生活」を目標に、日常生活や各種活動および生産活動を含めた幅広い日中活動を通して、基本的な生活習慣の確立や自立、自活に役立つよう支援・指導に努めました。

- ・ 基本的な生活習慣 ～ 身辺処理、みだしなみ、食事マナー等
- ・ 意思決定や生活に密着した活動 ～ 調理等
- ・ 自己表現、新たな能力の発見や情操面での安定 ～ いきいき活動：リトミック、創作活動、体操
- ・ 生活全般に関わる学習会 ～ 一休さん：小牧山の歴史・民話について
食欲の秋：食事について考えよう
これまで学んだ一休さんの振り返り
防災（地域の避難場所）について
令和4年度に向けて変わること
- ・ 体力の維持、増進を図る活動 ～ 健康体操、ラジオ体操、ウォーキング等
- ・ その他 本人活動：授産所だよりの掲載文等

3. 各種会議・職員研修・広報

・会議

職員会議 (年17回)	運営・行事の検討、利用者の処遇向上等
個別支援会議 (年23回)	利用者個々の処遇向上、モニタリング報告、個別支援計画の作成・見直し・確認等
評価会議 (年2回)	利用者の作業姿勢および工賃等
サービス評価会議 (年1回)	施設サービスの自己評価
作業部会 (年12回)	作業分析、就労・実習支援、就労後支援等
生活部会 (年12回)	施設内の生活支援全般、ボランティア受入等
広報部会 (年12回)	「なかまの“わ”」、ホームページ等各種PR等

・職種別合同部会

支援スタッフ部会 (年各1回)	作業部 (利用者の作業姿勢評価及び工賃等) 生活部 (施設サービス評価) 広報部 (ホームページ、広報紙等) ※必要に応じて電話にて連絡
事務担当者部会 (年14回)	予算作成、会計運用等
調理担当者部会 (年0回)	食材による調理方法等 ※必要に応じて電話にて連絡
保健・看護担当者部会 (年1回)	薬の管理方法、健診のあり方、次年度計画等 ※必要に応じて電話にて連絡
広報担当者部会 (年1回)	情報共有および連絡調整 ※必要に応じて電話にて連絡

・職員研修

施設外研修	各種団体等の研修会 (年14回、延17名) ※オンラインを含む 普通救命講習会 (年2回)
法人内研修	職員合同研修会 (年2回) ※各施設にて ・研修報告～事例検討「自分でできるところって？」～振り返り
施設内研修	年度末研修会 (年1回、19名) ・ハラスメント防止研修 ・「障害者虐待防止法の理解と対応」 出張報告会等 (年4回)
資格取得奨励	該当なし
自主研修利用	該当なし

・広報紙

授産所だより “はばたき” (毎月1回 利用者) 発行部数 37部

・実行委員会

本庄ふれあいまつり実行委員会 (年0回)

4. 行事等の活動

月	日	行事等の内容
4	1 27～30	開所式 ワックスがけ 保護者会総会<中止>
5		作業参観・懇談会<中止>
6	17 29	防災訓練 レントゲン検診(あいち健康クリニック)、健康診断(しのおか内科クリニック) 保護者向け講習会<中止>

7		家庭訪問
8	13～15 30	夏季休暇 消防設備点検
9	1	防災訓練（あいちシェイクアウト訓練に参加） 小牧福祉会職員合同研修会（1回目）※各事業所にて
10	29	1日グループ活動<中止> 防災訓練、インフルエンザ予防接種（しのおか内科クリニック）
11	6 18	本庄ふれあいまつり<中止> 代替え行事 本庄ミニまつり開催 歯科健診 スポ・レクのつどい（パークアリーナ）<中止>
12	20 29～1/4	大掃除 小牧ライオンズクラブ慰問 年末年始休暇
1	5 15	仕事はじめ 新年会
2	9 14	消防設備点検 電気設備点検 小牧福祉会職員合同研修会（2回目）※各事業所にて
3	10 24 31	防災訓練 次年度事業説明会 利用者年度末特別休暇

※個別懇談会（モニタリング）を一人当たり年2回以上実施

※イオン（マックスバリュ） 幸せの黄色いレシートキャンペーン（毎月11日）に参加（年0回）

5. 参加バザー

期 日	事 業 内 容	期 日	事 業 内 容
	こまき産業フェスタ <中止>		本庄区民まつり（3あい事業）<中止>
	たがた苑まつり <中止>	11/20～21	みんなの生活展（いきいきこまき）
	さまふえす in 味岡（味岡中）<中止>		小牧市社会福祉大会 <中止>
	いわさきふれあいまつり <中止>		本庄ふれあいまつり <中止>
	野口の郷ふれあい祭り <中止>	年7回	セルフ即売会（委託販売）
	福祉展（小牧市民まつり）<中止>	年9回	小牧市老人福祉センター（野口の郷）
	ほっと・すぼっと（本庄小、別形態での開催につき本庄からの参加は無し）		

常設店：キャロット

6. 実習・体験・見学・交流の受け入れ

	期 日	実 習 等 の 内 容	人 数
実習	6/14～6/25	産業現場実習（春日台特別支援学校 高等部3年生）	1名
実習	10/11～10/22	産業現場実習（春日台特別支援学校 高等部3年生）	1名
◎体験	8/30～11/19	教員免許特例介護体験（名古屋学院大学）	17名
実習	1/31～2/4	産業現場実習（春日台特別支援学校 高等部2年生）	1名
◎実習	8/16～2/25	保育士実習（愛知江南短期大学、名古屋女子大学短期大学部）	5名

◎は、愛知県の民間社会福祉施設運営費補助金（施設運営費）の対象事業

7. ボランティアの受け入れ

事業内容	人数等	
本庄ミニまつり	1団体	7名
いきいき活動講師（音楽療法）	1個人	5回
いきいき活動講師（創作）	1個人	4回
いきいき活動講師（リトミック）	2個人	3回
健康体操講師	1個人	3回
日中活動（作業、活動）	1個人	6回

8. 苦情の受付件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

9. 公益的取り組み

- ・近隣への奉仕活動（ごみゼロ活動等）
- ・各種実習受け入れ（福祉人材育成等）

10. 施設整備（設備整備）関係

特になし

II) 日中一時支援事業（公益事業）

(1) 内容

障害者等の家族の就労支援および日常介護している家族の一時的な負担軽減を図ることを目的に、日中活動の場を確保し、見守り等、支援を行いました。

(2) 契約者数 32名（令和4年3月31日現在）

利用人数・日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日中活動	1	1	1	0	1	0	1	1	3	1	2	4	16
タイムケア	3	3	14	2	3	3	3	2	5	2	1	3	44
延日数	4	4	15	2	4	3	4	3	8	3	3	7	60

(3) 職員 9名（令和4年3月31日現在）

管理者1名、生活支援員8名 ※兼務職員数を含む

IV. 新町ホームきぼうの事業報告

令和3年度においては、新型コロナウイルス感染状況の拡大および感染防止を第一に考え、自室で過ごしていただく等、感染対策の徹底を図りました。

方針 利用者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の身体および精神の状況や環境に応じて支援を行いました。また、日常生活上における入浴、排せつ又は食事の介護や相談、その他の援助を利用者のニーズに合わせてながら適切に行いました。

なお、空室が生じた時は、その空室を利用して一時的に共同生活住居に入居し、自立生活の体験利用も実施しました。

1) 新町ホームきぼうの入居者への支援・指導

1. 指定共同生活援助

(1) 入居者

利用人数（令和4年3月31日現在）

		指定共同生活援助（定員6名）													
新町ホームきぼう	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
	本入居	利用数	5	5	5	4	4	3	3	4	4	4	4	4	49
		利用日	94	63	95	86	63	50	65	75	87	74	77	89	918
		稼働率	52.2	33.9	52.8	46.2	33.9	27.8	34.9	41.7	46.8	39.8	45.8	47.8	42.0
	体験含	利用数	7	6	7	5	5	6	7	8	7	7	7	6	78
		利用日	110	69	113	88	65	60	120	108	110	95	101	104	1143
稼働率		61.1	37.1	62.8	47.3	34.9	33.3	64.5	30.0	59.1	51.1	60.1	55.9	52.2	

年齢（令和4年3月31日現在）

	～18	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男	0	0	1	0	2	1	0	4
女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	0	2	1	0	4

障害者総合支援法に基づく障害支援区分（令和4年3月31日現在）

区分	認定無し	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	1	3	0	0	4
女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	1	3	0	0	4

市町村別（令和4年3月31日現在）

小牧市 4名

(2) 職員 20名（令和4年3月31日現在）

管理者1名、サービス管理責任者1名、世話人4名、生活支援員17名 ※兼務職員数を含む

2. 支援・指導

<豊かな生活から自立に向かう>

一人ひとりの障がい状況に応じて日常生活支援を行い、生活の中において個々の希望にあった自己選択や意思決定が行えるよう支援をしました。また、自主性を育てるとともに、仲間との協調性や責任感を身につけるよう、また、精神的、経済的に自立に向かっていけるよう支援に努めました。

地域や家庭との結びつきを大切に、安心・安全な生活の提供と利用者に寄り添った支援に努めました。

- (1) 日常生活支援
 - ・対人関係を考慮しつつ、利用者同士が互いに仲間を大切にするよう支援・指導を行いました。
 - ・日常生活面における相談や食事、入浴、排せつ、調理、買い物等の基本的な生活の介護や支援と身の整理整頓等への支援を行いました。
- (2) 余暇支援
 - ・新型コロナにより様々な催し物（行事や外食等）の提供がしにくい状況でしたが、誕生日会等のささやかな企画により、生活の中の楽しみとなるよう支援・指導を行いました。
- (3) 健康管理支援
 - ・健康状況などを把握し、疾病予防、健康管理に努めました。家族や日中活動の事業所との連携を密にし、利用者の体調の変化に応じて迅速な対応に努めました。
- (4) 個別支援計画の作成
 - ・利用者の状況やニーズに応じた適切なサービスを提供するため、アセスメントを実施し個別支援計画を作成しました。作成された支援計画を実施しながら、モニタリングを行いました。
- (5) 災害時および緊急時への対応
 - ・非常災害対策計画や消防計画に基づき、安心・安全な生活を送れるよう家族や地域、関係機関との連絡体制を整え、帰宅後や就寝時間に防災訓練を行いました。
 - ・利用者の呼出し等速やかに対応できるよう常時連絡できる体制を確保しました。
- (6) 嗜好調査
 - ・食事等についての意見や要望を聞き取り、バランスのとれた食事等に配慮しました。
- (7) 地域との交流
 - ・地域や地域住民の理解促進のために地域自治会に加入し、地域の一員として積極的にあいさつをして交流に努めました。
- (8) 体験利用
 - ・入居に向けた共同生活援助の体験の場を提供し、自立生活に向けた支援をしました。

3. 職員研修

職員の資質向上、専門知識の修得等

外部研修	普通救命講習会（年4回、延4名）
研修報告	特になし
内部研修	日常事例から兼務職員による直接的な支援・対応の仕方の助言 年度末研修会（年1回、5名） ・ハラスメント防止研修 ・「障害者虐待防止法の理解と対応」

4. 行事等の活動

月	日	行事等の内容
4	1	防災教育（役割確認）
8	20	消防設備点検
11	26	AED機種入れ替え
12	29～1/4	年末年始帰省
2	25	消防設備点検
3	24	防災訓練（夜間）
	28	防災訓練（避難経路確認）

※該当者がいる月に誕生会やクリスマス会等を実施

※個別懇談会（モニタリング等）を実施

5. 実習・体験・見学・交流の受け入れ

	期 日	実 習 等 の 内 容	人数
見学	7/20	社会福祉士実習生	1名
見学	8/19	社会福祉士実習生	2名
見学	10/18	社会福祉士実習生	1名

6. ボランティアの受け入れ

特になし

7. 苦情の受付件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

8. 公益的な取り組み

特になし

9. 施設整備（設備整備）関係

特になし